

通常総会と特別CPDセミナー開催

2012年6月9日（土）13：30より、東京グランドホテルにて第12回JSPE通常総会と特別CPDセミナーが開催されました。

第1部：通常総会

第1部は通常総会で、正会員153名のうち、26名（書面による事前議決権行使者と委任者含めると84名）が参加しました。昨年度の事業報告、今年度の事業計画および新理事2名の追加選任の件が土屋会長から、会計報告が青木会計部会長からそれぞれ報告・提案され、いずれも承認されました。新理事としては鈴木央氏、野本泰之氏が就任致します。



2011-12年度の役員紹介

土屋会長からは今年度の活動テーマとしてInnovative Roles of Professional Engineers in Industry「企業内PEの役割について考える」というテーマが紹介されました。これは日本ではエンジニアは通常企業に所属しており、日々「自分」「社会」「企業」という3つの概念の板挟みにあいながら答えを探している状態にあることから、今一度組織の中のPEの使命を議論してみたいというものです。



報告を行う土屋会長

質疑応答の中では、「エンジニアズサロンが下火であり再度活性化してほしい」「共通語である英語による発信が少ないのでもっと英語で発信する必要がある」といった意見をいただきました。会長からは今年度はこれらについてもより積極的に取組む旨の回答をしております。



参加者との質疑応答

第2部：特別CPDセミナー

第2部は「NSPEの新しい取組みとJSPEの新しい役割」と題して、会場の座席がほぼ満席となる盛況の中、NSPEのChristopher Stone会長およびJSPE副会長川村武也氏による特別CPDセミナーが開催されました。Stone会長による講演は、自らが提唱されこの一年間米国各地で活動を展開されたプロジェクト「LEADERS」の概要とその意義を強調される内容でした。LEADERSとは以下の頭文字を取ったものですが、「PEは社会のリーダーでもある」というメッセージが込められています。

- Licensure (ライセンス)
- Ethics (倫理)
- Advocacy (主張)
- Diversity (多様性)
- Education (教育)
- Recruitment (採用)
- Sustainability (持続性)

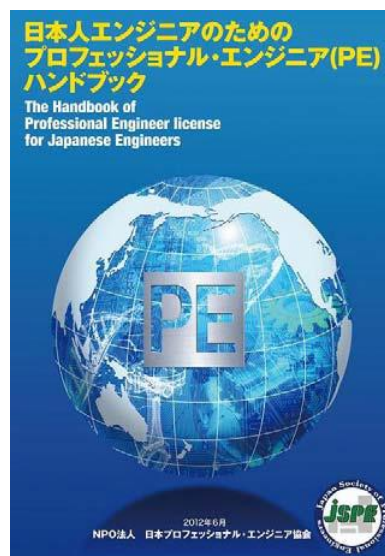
この中で例えばLicensureの項目では毎年170万人の学生が技術系の学科を卒業しているが、PEになるのはその27%にしか満たないことを危惧していました。またAdvocacyのところでは、PEはまわりのエンジニアにPEの素晴らしさ、大切さをどんどん宣伝し、PEを価値あるものにする必要があるといったコメントが印象的でした。Stone会長はStructural PEとして約500名のコンサルティング会社社長職にあり、ご自身26州のPE登録をお持ちということです。来日は初めてということでしたが、総会後に広島を観光されるなど日本の文化やインフラに深い興味をお持ちでした。



講演中のNSPE会長Stone氏

川村氏の講演テーマは「日本人エンジニアのためのPEハンドブック（以後PEハンドブックと略称）の紹介」という内容で、会場で初めて配布されたPEハンドブックについて、制作の背景と活用方法が解説されました。このハンドブックは従来の「PE受験TIPS」に代わるものであり、2007年東京PE試験再開以後の日本人PE登録状況を踏まえたものであること、および昨年参加したNSPEラスベガス総会で目にしたStone会長の「LEADERS」活動にヒントを得たものであることが紹介されました。日本に居ながら各州のPE登録に挑む日本人には米国人以上に米国PE制度の歴史と枠組みを知っておく必要があり、また日本の技術者制度とPE制度との違いも理解しておくことが必要であるという主張でした。こうした観点から米国各州へのPE登録体験談が豊富に掲載されています。特にPE登録に苦労されている人が多い昨今、このハンドブックは強力な指南書となること間違いなしです。なお、この「PEハンドブック」は間もなく全てのJSPE会員に年間事業報告書とともに郵送されます。

両氏の講演後のQ&Aでは「日本ではPE登録に苦労しているエンジニアが多いが、NSPEとして外国人へPE取得の門戸を広げる予定はあるか？」に対し、Stone会長より「各州の思想を統一することは非常に難しいため、全米が外国人にPEを取得しやすいように制度化することはなかなか難しいと思うが是非あきらめずにチャレンジし続けてほしい」との励ましをいただきました。その他「日本のエンジニアリング、製造業は国際社会で完全に埋没しつつあり、JSPEがPE資格取得の意義を国内で訴えていく必要性はかつてなく大きい」といった問題提起、川村副会長の日本語講演を受けて「英語がエンジニアリングリテラシーとなりつつある現代、PE協会のセミナーは英語でやってはどうか」とのコメントもいただきました。



第3部：懇親会

セミナー後、Stone会長ご夫妻を始め、元日本機械学会会長今井先生、韓国技術士会のナム・ホ副会長、日本環境倶楽部事務局長の山田修子氏、PMI日本支部のRobert Higgins氏、JPEC義本正実会長らの来賓と約40名の会員との間で懇親会が行われました。司会の竹政企画部会長がまず英語による開始の合図をされ、続く土屋会長も英語で挨拶されたため、壇上からの挨拶は極力英語を用いたスピーチが行われました。

また日米両会長間でのプレゼント交換や、昨年度JSPEの活動に貢献の大きかった会員に対する表彰状の授与（該当9名のうち4名参加）が行われました。会は和やかな雰囲気の中、19時に終了しました。



土屋会長から表彰される「JSPE活動に大きく貢献した会員の皆様」



土屋会長とJPEC義本会長に
プレゼントを渡すStone会長



土屋会長からStone会長へプレゼント
と感謝状の手渡し



韓国技術士会ナム・ホ氏へ
プレゼントを渡す土屋会長



懇親会参加者全員での記念撮影

【表彰対象会員：2011年度にJSPEの活動に積極的に参加し貢献した会員】

渋谷高広 大阪電通大「国際工学技術者育成セミナー」の非常勤講師として活躍。

「メキシコ湾深海石油開発事故調査タスクフォース」にも参加。

北林孝顕 大阪電通大「国際工学技術者育成セミナー」の常勤講師として活躍。

野本泰之 「メキシコ湾深海石油開発事故調査タスクフォース」に参加。

米国事故調査委報告10件に加え専門分野の関連情報を収集し、報告書を取り纏めた。

須田和典 同上「メキシコ湾深海石油開発事故調査タスクフォース」メンバー

荻島知之 同上「メキシコ湾深海石油開発事故調査タスクフォース」メンバー

馬場丈典 昨年度のNSPE総会参加し、米国PEと交流。

また関西・名古屋地区の活動に積極的に参加し活性化に貢献。

三宮 中 昨年度のNSPE総会参加し、米国PEと交流。

社内において、またJSPEマガジンを通じてPE価値について発信。

門野 剛 技術的交渉英語のセミナー講師担当の他、JSPEの各種活動に積極的に参加。（

技術者倫理のアドホックコミッティ、PE/FE試験プロクター等）

田尻明子 関西英語セミナーを企画し、実現した。企画、業者選定、内容検討

セミナーガイダンス講師担当、セミナー運営までほぼ全てを担当。